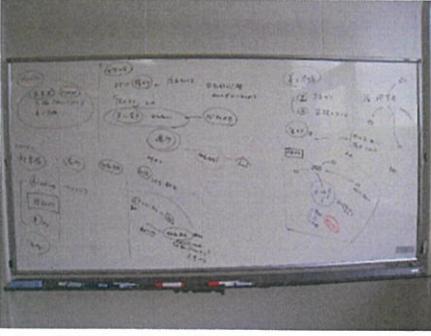
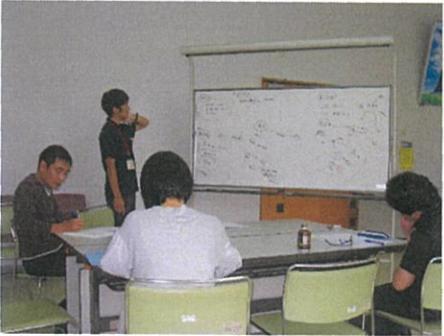


回	日付	場所	参加者数
1	令和1年10月18日(金)	大隅弥五郎伝説の里 健康ふれあい館 会議室	4名
協議内容等	<p>【協議内容】</p> <p>①障がい者の過ごし方等について</p> <p>【シオン舎】土曜日は2か月に一度くらいの活動。催し関係に行くことが多い。家の手伝い等(農作業)が多いと思う。また、家族と外出や外食を楽しみにしている方が多い。多動の方も畑に行って落ち着く様子。一人暮らしの方は、買い物に月1くらいで行きたいと訴える。シオン舎として、都城市のイオンへ皆で行った。広いきれていない部分があるかもしれないが充実していると思う。</p> <p>【牧之原養護学校】土曜日は、放デイがある。日曜日は、家族と過ごしている。医ケアが必要な子どもさんを受け入れてくれる施設が曾於市があるのかどうか。霧島市等の離れた街へと連れていくことが多いと思う。</p> <p>【高齢者サロンについて】社協等で実施している高齢者サロンは、比較的立ち上げやすいが、開催場所や責任者等の確保及び集まるだけの人確保出来るかが問題。また、開催場所まで利用者がどのようにして来るかが問題である。サロンの実施内容は、その地域に合わせた多種多様である。ある地区では、JAが過疎地域への買い物支援として移動販売車を活用している。また、地域の学校や保育・幼稚園等とも交流をしている。</p> <p>【牧之原養護学校】卒業後の集まる場所が無いと言われる。年1で同窓会を開催しているが1学年の全ての生徒を集めることも出来ないし、牧之原は交通手段が無く広いので、今後集まれるのが厳しい。何か別な方法があるのか。地区ごとでホットサロンみたいな集える場所が出来れば、そこを拠点に出来ないか。学校としても、土日で集まれる場所があるのはありがたい。しかし、学校の対象世帯がかなりの広範囲のため、集まろうにも集まれない。移動手段という課題も大きい。</p> <p>【曾於市役所】この課題解決型については、誰が困っているかは障害をお持ちの当事者の方々に、集えるような場所があったらいいよねというのがベースだが、場所だけあっても行かないでしょうし、そこに何があるから行くという感じなので、必要じゃないものを準備しても仕方ないので、当事者の方々が何を求めているのかが大事では。非常に難しい課題である。</p> <p>【今後について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼びかけは、当事者を核に、グループホームや他の事業所等に案内をする。また、社協等のサロン担当者等。 ・当事者は、会場まで来れる方や事業所等をピックアップして依頼する。また、ピアサポーターも参加へ。 		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		